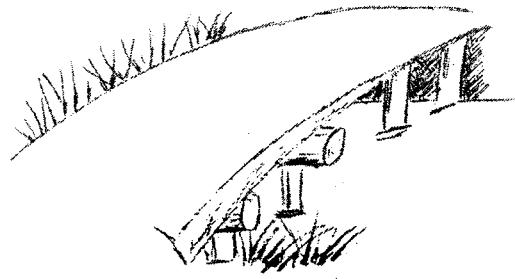


# 野いちご



## 鳴子魁首への巡検

伊藤 敦子

入学式終了後各科別に研究室でガイダンスがあり、その時にはじめて巡検という言葉を目にしました。先生方の話から何か知らず旅行が出来るとはかり思っていたのです。その後上級生に巡検に関する話を聞いたら、私の想像している事とは大部違っている事がわかりました。十月の前期の試験が終わったその夜、いそがしと勇ましく生まれて始めて巡検なるものへと旅立ちました。行先は鳴子魁首で、担当は吉田先生でした。二泊三日の巡検でしたが、色々経験になりました。

大抵の人は、試験勉強でちやんとした下準備が出来ていないので（私とその一人でしたが）先生の説明される事が余りよく理解できない様でした。ですから今更からそういう事がない様に誓ったのですが-----何しろ下準備はやってやりすぎる事はありませんので、これが最後までたたりました。

私など先生が説明なさつてと、一寸聞えない所や不明の所などは書けないので、そのまゝにして置くと、案外こう言つたものが重要で、後から本当に困つてしまいました。行く前から大部歩くと聞いていたので、その方面に余り自信のない私は大いに心配したのですが、最悪の事態も起らずホッとしました。よく他人から見れば、「授業という名の」として旅行ができて良いわね」とうらやましそうに言われますが、とんでもありません。そりや未知の所へ行くのは楽しみですが、巡検の後、整理してレポートを出すのが大変です。従つて私はこのオー一回目の巡検でまいつてしまいました。巡検の間は先生と学生と殆んど同じ生活をするので、今まで足りなかつた又授業だけでは得られないお互の親和感が生まれて来るのと、巡検の良いところではないかと思ひます。普段学校で会つて居るだけの友達のみ知らない面を知るのも楽しいことです。この巡検の終了後各人は好き勝手に旅へと敬り、私と金華山、石巻、仙台をまわつて、盛岡のわが家へ帰りました。